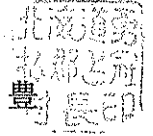


平成19年4月27日

国土交通省道路局長 様

占冠村長 小林



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号に係るこのことについて、別紙のとおり提出致しますのでよろしくお取り計らい願います。

(総務課庶務企画グループ)

## 中期的な計画の作成にあたっての意見

意見者：北海道占冠村長 小林 豊

### 1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ・基幹産業の一つである観光振興について、多様な観光ルートを形成し広域的な連携が図られるネットワークの構築を目指すための重要な基盤整備である。
- ・本村のような過疎地において、緊急医療や災害に強い地域づくりを進める上で重要な施策となっており、安心・安全な交通の確保が必要です。
- ・北海道横断自動車道と旭川十勝道路の要所として本村が接続地点となることから地域経済振興、観光振興に大きな期待を寄せています。とりわけ、北海道横断自動車道における供用開始時期が公表されており、村内にインターチェンジが2カ所設置されますが、高速道路の利用促進のためにも地域振興、通勤、通学、高次医療確保のための料金の割引・引き下げ等を行い、その財源に道路特定財源を充てる等の施策を検討。
- ・北海道横断自動車道の供用開始に伴い、接続する国道・道道の危険箇所の解消と交差点等の2車線化など拡幅による安全性の確保。

### 2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・北海道における道路管理は、冬期間の除雪体制と経費削減を図ることは効率化を進める上で大きな要素と考えられます。道州制や権限移譲が取り組まれている中、道路管理者がそれぞれ行っている除雪や管理を既得権益を乗り越えた取り組みも検討する必要があると思います。

### 3 その他、道路政策や道路の整備、管理全般に関するご意見

- ・地方が考えている道路施策については、「北海道のみちを考える懇談会」が提出している提言書に盛り込まれていると考えますが、これら提言を実行するためには道路特定財源による財源の確保は必要不可欠であり、過疎地に暮らす者として生活していく上で最も重要な施策でありますので、どこの地域にいても教育、医療、地域間交流、地域経済活動、災害対応が図られる基盤整備を希望しています。